

# 一本橋をとりまく 農村原風景の維持



助成区分	植樹	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
草刈り作業4回 参加延べ人数50人		活動の全体目標に 対する達成度		100%

## 実施状況

橋架けの作業2回  
参加延べ人数25人

草刈り作業4回  
参加延べ人数50人

活動の全体目標に  
対する達成度

100%

## 活動目的

我がふるさとにある気仙川は、生活道として板橋が何本もあったが、いつしか周辺には無くなり、この松日橋だけになった。里道としての橋と農村風景を守り、維持していくことで結い心のつながりが保てている。橋の維持だけでなく、周辺環境(桜団地造成)も整備する。

## 活動内容

【橋板確保】橋板は7~10年くらいで腐食するものである。今回架け替えにもない、新板の確保をした。

【橋架け】大水により橋は流失し、橋架け作業を行った。

【草刈り】橋周辺と桜団地の草刈り作業を行った。



## 成果

2019年は、洪水による橋流失が2回あり、その都度、橋架け作業を行った。

新板を製材して確保し、橋架け作業で設置した。



## 工夫した点

地域の山林所有者から橋の一部の部材の提供を受けた(「ざまざ」と呼ばれる部材)。

桜の苗木を鹿の食害から防ぐために電気牧柵を設置した。



## 今後の課題

橋架け作業の担い手が高齢化している。

自動車社会により松日橋を渡る人が少なくなり、永続的に維持していくのに不安を感じている。